

木崎小学校

ステップアップガイド

～家庭学習のススメ～

なまえ
名前

ねんせい つか
6年生まで使います。なくさないようにしましょう。

保護者の皆様へ

子どもたちの健やかな成長を願っているのは、保護者の皆様も学校も同じです。

小学校では、「確かな学力」を身に付けたいという願いをもち、授業の充実を図っています。学校での学習内容の定着のためには、家庭での生活習慣づくりと学習習慣づくりが重要です。

学校で学んで分かったことを使って考えたり、学校の学びでは十分理解することができなかったことを復習で補ったりすることで、学習内容が定着します。また、興味をもった内容についてさらに自分で調べるなどの学習は、自分で課題を見付け主体的に学ぶ力も伸ばします。

木崎小学校では、帰りの会の10分間を活用した「ステップアップタイム」の取組と「ステップアップノート」を活用した家庭学習を全校体制で推進し、日常的な家庭学習習慣の定着を目指します。

家庭での学習のヒントとして、このガイドブックをぜひご活用ください。

きざきしょうがっこう

木崎小学校のみなさんへ

すすんで家庭学習に取り組む習慣を身に付けましょう！

- 家庭学習は自分に「考える力」「じょうずにできるようになる」「自分で決める力」などのたくさんの力をみなさんに付けてくれます。
- 毎日つづけましょう。コツコツと続けることはなかなか難しいことかもしれませんが、でも、少しずつの積み重ねがきつとみなさんを大きく成長させてくれます。

こんなふうに取り組みましょう！

- 帰りの会の「ステップアップタイム」で、その日の家庭学習の計画を立てましょう。
- 家庭学習の時間のめやすは「10分×学年」以上です。

ステップアップノートの基本的な使い方と

ステップアップタイムの流れ

1 日付を書きます。

5/9 (木)

宿題 算プリ 1枚	10分
①国 新しい漢字・意味調べ	15分
②算 テスト	0分
③家 家の仕事	10分
④音 歌と合奏	0分
⑤理 ふりこの学習まとめ	10分
⑥体 きばせんの練習	0分
その他 計ドリ10 漢ドリ15	15分
計60分	

2 宿題に取り組む時間を書きます。

3 その日にやった学習を 1 時間目から順に書き出します。

4 その日にやった学習の中で、ステップアップノートに復習ができそうな教科に時間を割り当てます。

5 ドリルやテスト勉強、その他の学習などに取り組む場合は、その他に書いて、時間も決めます。

①国

新しい漢字を使った文作り

6 計画を立てた学習内容が「10×学年」になっているか、確認します。

③家

家の仕事調べ (インタビュー)

7 計画を立てたら、まずは宿題からスタート！
宿題が終わったら、ステップアップノートに1時間目の内容から順に取り組みましょう。

2/28(木)	宿	プリント	20分
1	国	「テスト」	15分
2	体	「バレーボール」	0分
3	外	「物語」	0分
4	算	「まとめ」	15分
5	音	「歌、なんはん」	0分
	理科		15分
	社会		15分
			80分

① 国語

文学的文章の読解

「場面」をつかむポイントは何？

時代・季節・時刻を場面におさえる

登場人物たちがどこにいるのか、場面ごとに場所の移

子を細かく読み取り、7判
断する

登場人物が登場している場面
面ごとにおさえる。それ
ぞれの場面やうせ、なが
いの関係にも注意する。

この三要素の変化は、場面変化
のきっかけにもなる。

「心情」をつかむポイントは何？

登場人物が直接自分の
心情を語ることが
ある。

登場人物の表情や
動作、態度、
行動に、その
とき的心情が
暗示される。

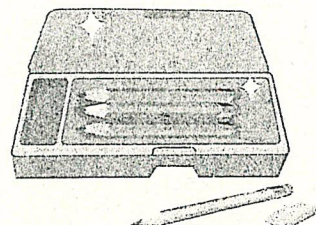
小学1・2年生

おうちの方へ

この時期の子どもは、好奇心にあふれ新しい知識に高い関心をもっています。学校では、「できるって楽しい」「分かるって楽しい」「友達と勉強するって楽しい」という気持ちを高めるように授業づくりを進めます。ほめることでやる気を高め、集中力を高める時期です。好奇心にかき立てられて様々な話をしてくる時期でもあります。子どもたちのおしゃべりにも耳を傾けていただきたいと思います。

子どもたちへ

- つくえの上は きちんと かたづけましょう。
- テレビを けしましょう。
- えんぴつを ただしく もちましょう。
- しせいを よくして かいたり、よんだりしましょう。
- 「おんどく」は おうちの人に きいてもらいましょう。



こくご 国語

ひらがな・カタカナ・かんじれんしゅう

おてほんの 字を見て おてほんそっくりに、ただしくかけるように くりかえしれんしゅうしましょう。

音読(おんどく)

きょうかしよを 声をだしてよみます。おほえられるくらいよみましょう。

視写(ししゃ)

本やきょうかしよの文を ノートにうつしてかきましょう。「,」「。」「一字さげ」にきをつけて いねいにかきます。

作文(さくぶん)

たのしかったことや せんせいにおしえてあげたいことなどを文にかきましょう。「えにっき」にしてもたのしいですね。

さんすう 算数

けいさんれんしゅう

「けいさんカード」や「けいさんドリル」をなんどでも くりかえしてれんしゅうしましょう。

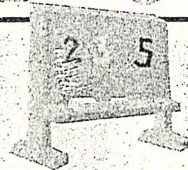
「くりあがり」「くりさがり」がでてきたら なんどもれんしゅうをしましょう。

2年生では「九九」をくりかえしれんしゅうしましょう。

おはなしづくり

たしざんや ひきざんになるような おはなしを つくって みましょう。

いえにあるものや いえの人の なまえがでてくると たのしいですよ。おかいものごっこなども いいですね。



どくしょ た 読書・その他

- いろいろな よみものを たくさんよみましょう。「むかしばなし」や「ずかん」など たのしい本のせかいが あなたをまっています。
- テストがかえされたら まちがったもんだいをもういちどといてみるのもいいですね。「そうか！わかった！」とおもうまでとくと じぶんのちからになります。



小学3・4年生

おうちの方へ

この時期の子どもは、学習意欲に差が出てきます。学校生活にも慣れ、低学年での学習習慣がくずれがちになる時期でもあります。学校では、子どもたちの興味をひく課題を設定して、友達と話し合う授業づくりを進めています。身に付いた事柄を繰り返し使用して、様々な考え方で課題を解決する学習に取り組みます。低学年に確立した学習習慣を、継続的なものにするために、おうちの方の根気強い声掛けをお願いしたいと思います。

子どもたちへ

- つくえの上をかたづけ、テレビを けして取り組みましょう。
- しせいを よくして 書いたり、読んだりしましょう。
- 「音読」は おうちの人に きいてもらいましょう。
- 答え合わせをして まちがいを直しましょう。
- よく分からないことには しるしを付けておきましょう。

国語



漢字・ローマ字練習

か じゅん 順、読み、送り が な 仮名に注意して正しく れんしゅう 練習します。

音読

声の大きさ・速さ・まの取り方に気を付けて、はきはきと読みます。

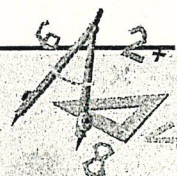
作文・日記・視写

組み立てを考えて「つなぎ言葉」を使って書きましょう。漢字を正しく使います。

国語辞典・漢字辞典を使って

言葉の意味や漢字の な 成り立ちを調べてみましょう。

算数



計算練習・ドリル

くりかえし れんしゅう 練習をしましょう。あるていど、速く計算できるようにします。

問題作り・教科書のおさらい

式を立ててから問題を作ると、式の い み 意味がよく分かるようになりますよ。教科書の問題をもう一度、といてみるのもよいですね。

くらしの中の「算数」さがし

時間やお金を使った計算などに取り組みましょう。

図をかく練習

定規やコンパスを正しく使って、図を か いてみましょう。

社会



地図にしたいむ

地図記号や八方位をおぼえます。新潟県の市町村や、日本の47都道府県 of 場所と名前をおぼえます。

教科書の音読

新聞・ニュースを読む

理科



育てる・観察する

いろいろな植物やこん虫を育ててみましょう。大きさ、色などをかんさつします。

ものづくり

電池を使った工作や、じしゃく 磁石をつかったものづくりをしてみましょう。

読書・その他

- 物語・詩・れきし 歴史や科学の本・スポーツの本・有名人の本（伝記）・図かんなど、様々な本を手にしてみましょう。お気に入りの一冊と出会うことができるといいですね。
- テストの前になったら、その単元のおさらいをしてみましょう。テストが返されたら、まちがえたもんだいをもう一度やってみると、さらに力がのびます。



小学5・6年生

おうちの方へ

この時期の子どもは、自分の中で教科の「好き・嫌い」がはっきりとらえられるようになってきます。苦手なことを敬遠しがちになる時期です。目標を立てることができるようになるので、子どもと目標を話し合い、達成できたら大いに褒めていただきたい時期でもあります。学校では、学習した内容を活用して多様な考え方を交流する授業づくりに力を入れます。学習内容の多さから、その時にしっかり身に付けなくてはならないことが増え、家庭での復習が担う役割が多くなってきます。おうちの方には、学校で子どもが取り組んでいる学習内容を理解していただくとともに、つまずきや苦手がないかを見ていただきたいと思います。

子どもたちへ

- 机の上を整え、音のない集中できる環境をつくりましょう。
- いろいろな教科の学習に取り組みましょう。
- 答え合わせをして まちがいを直しましょう。
- よく分からないことに印を付けておきましょう。

国語



漢字・ローマ字練習・言葉の学習

文字は書き順、読み、送り仮名に注意して正しく練習します。ことわざや熟語、敬語なども身に付けます。

音読

強弱・速さ・間の取り方に気を付けて読みます。

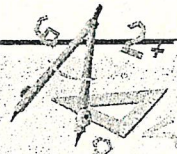
作文・日記・視写

漢字を正しく使い、新聞やニュースから話題を決めて書きます。

国語辞典・漢字辞典を使って

言葉の意味や漢字の成り立ちを調べてみましょう。

算数



計算練習・ドリル

分数や小数の計算が正確にできるようにします。筆算や、と中の計算は書き残しましょう。答えの単位にも気を付けます。

問題作り・教科書のおさらい

教科書の問題をもう一度解きましょう。

文章問題をとく練習

文章問題にある2つの単位の関係に気を付けて問題を解いてみましょう。立式の根拠を言葉で書き残すようにします。

くらしの中の「算数」さがし

比例・割合・立体など見つけたものをノートにまとめてみましょう。

社会



世界の国々を調べる

世界の大陸・海洋の名前、主な国の名前と位置を覚えます。

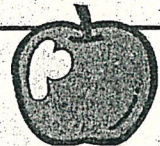
歴史に親しむ

人物や時代のとくちょうを調べます。

新聞・ニュースを読む

ニュースを見て興味をもったことをまとめます。

理科



育てる・観察する

魚やこん虫を育ててみましょう。卵をうむまで育てて命のつながりを考えてみましょう。

ものづくり

標本や、くらしに役立つ物や簡単なおもちゃなどを作ってみましょう。

調べる

植物の生長の様子などを調べてみよう。

読書・その他

- 物語・詩・歴史や科学の本・スポーツの本・有名人の本（伝記）・図鑑など様々な本を手にとってみましょう。お気に入りの一冊と出会うことができるといいですね。
- テストの前になったら、その単元のおさらいをしてみましょう。テストが返されたら、まちがえた問題をもう一度やって、どうしてまちがったのかに気付くと、さらに力がのびます。
- 外国語の学習で習った単語や文を書いてみましょう。日常生活の中で「どうやって外国語で表現するのか？」と興味をもったら、言い方を調べてみるのもいいですね。